

## 地下タンクFRPライニング 【紫外線硬化シート工法】

## 施工手順

## ガス加圧試験

- 1) ガス加圧法20kpa（地下水位を考慮）でタンクの点検を行う。
- 2) 漏洩検査管による点検を行う。

## タンク内部清掃

- 1) 地下タンク内部のスラージ・汚れ等を取り除き清掃を行う。
- 2) 油分等をウエス等で拭き取り高圧洗浄を行う。

## タンク内部素地調整

- 1) 地下タンク内面を防爆型送風機で送風し乾燥させる。
- 2) 地下タンク内面をディスクグラインダーを使用し処理する。

※ 処理とは2種ケレンかけ

## タンク板厚測定

- 1) タンク内に50cm平方の墨出しを行う。
- 2) 超音波板厚測定器で50cm平方内の任意の位置3点を測定する。
  3. 2mm未満の板厚が測定された場合。  
板厚が3.2mm未満の場合地下タンク貯蔵所の基準に適合しません  
消防危第204号 継続使用を認めて差し支えない要件に適合するか  
確認を行う。

(1) タンクに1か所のみ減肉又はせん孔がある場合、減肉又はせん孔の直径が38mm以下であること。

(2) タンクに複数の減肉又はせん孔がある場合、次のとおりとする。  
ア 0.09㎡あたりの数が5か所以下であり、かつ、減肉又はせん孔の直径が12.7mm以下であること。

イ 4.6㎡あたりの数が20か所以下であり、かつ、減肉又はせん孔の直径が12.7mm以下であること。

※ 減肉の大きさは、板厚が3.2mm未満の部分の大きさとし、せん孔の大きさは、せん孔部の周囲を板厚が3.2mm以上保持しているところまで削り取った大きさとする。

要件の適合を確認し所有者と協議の上 継続使用の意向を消防署に届け出る。

## タンク内面プライマー塗装

- 1) タンク内面の乾燥を確認し、チリ・ホコリを除去する。
- 2) タンク内面にプライマーを塗布する。
- 3) タンク内部に送風を行い乾燥させる。

## 内面FRP工事

- 1) 500巾のロール巻FRPシートをタンク内に搬入する。
- 2) タンクの胴板部は軸方向に貼り付ける、鏡板部は縦方向に貼り付ける。  
※ 貼り付け時はタンク面とFRPの密着がより強固になる様にヘラ等を使用し貼り付けを行う。
- 3) 貼り付け後 紫外線照射装置で20～60分以上照射を行いFRPを硬化させる。  
  
以降 繰り返し作業
- 4) タンク内全面にFRPシートを接着・硬化確認後 小口部にタッチアップパテ材を塗布する。

## 施工写真による施工内容説明



タンク板厚測定



プライマー塗装

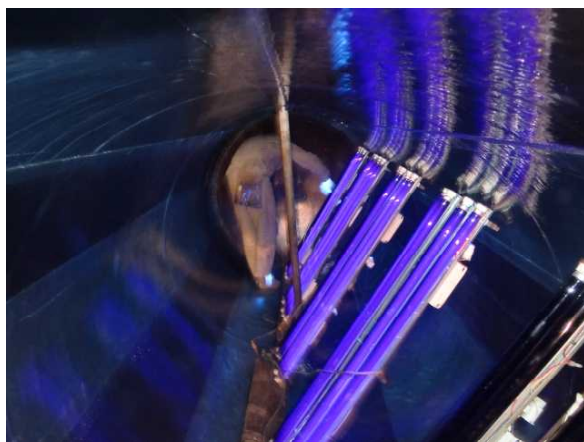


FRP貼り付け

施工写真による施工内容説明



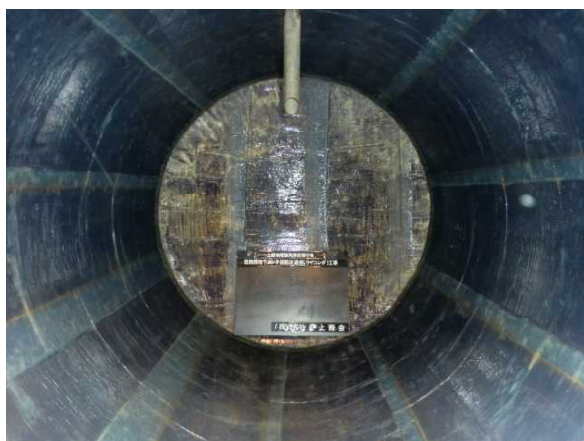
FRP貼り付け



紫外線照射



小口FRPパテ塗布



完了